

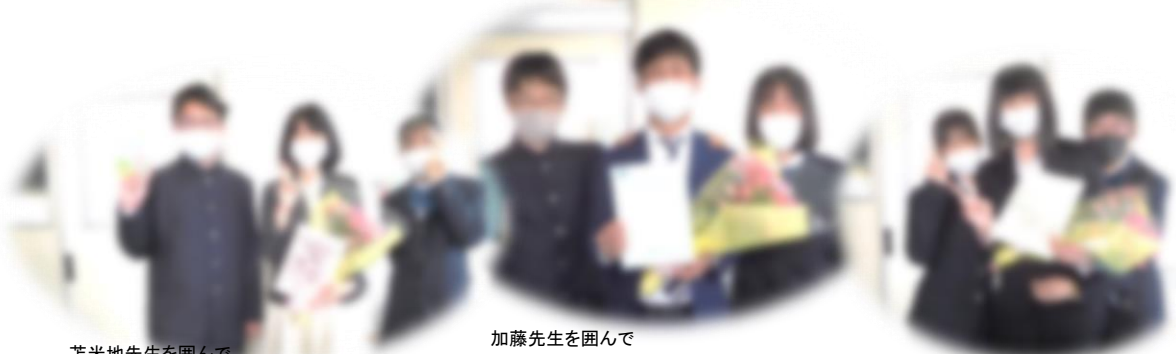
# 離任式

4月23日(金)の6校時に離任式が行われました。この日は、昨年度まで授業や部活動、学校生活でお世話になった**加藤 青覇先生**、**浅野 早弥花先生**、また、図書館司書の**苦米地 睦美先生**の3人をお招きして、感謝の気持ちを伝えました。

式は感染症予防対策のため、放送で行われ、校長先生からの紹介に続き、先生方よりお話をいただきました。加藤先生からは、「**南二中の生徒や保護者からのいい先生という言葉が今の学校に伝わり、南二中に支えられていることと信頼の大切さを感じている**」という南二中への感謝の言葉をいただきました。浅野先生からは、「**転任校がすぐ近くなので、これからも隣の駅から南二中のことをずっと思っていますので、頑張ってください**」という励ましの言葉をいただきました。苦米地先生からは、「**南二中の生徒はとても素敵です。これからも図書館をうまく利用して、沢山本を読んでいってください**」という温かい言葉をいただきました。その後、加藤先生には、旧1年1組学級委員の〇〇〇〇さん(2-1)と〇〇〇〇さん(2-4)から、浅野先生には、学級委員長の〇〇〇〇さん(3-4)と吹奏楽部の〇〇〇〇〇さん(3-1)から、苦米地先生には、図書委員の〇〇〇〇〇さん(3-4)と〇〇〇〇〇〇さん(3-2)から感謝の言葉と花束が贈られました。

離任式の後には、2年生による加藤先生を囲む会、3年生による浅野先生を囲む会が行われ、およそ1時間にわたり、先生方も生徒たちも別れを惜しみました。

**加藤先生、浅野先生、苦米地先生、これまでありがとうございました。**



苦米地先生を囲んで

加藤先生を囲んで

浅野先生を囲んで

## 南千住マイスターのコーナー

千住大橋を通る日光街道は現在も国道4号の通称として用いられています。

千住大橋が架橋されたのは、徳川家康が江戸に入府して間もない1594(文禄3)年のことで、隅田川に架けられた最初の橋です。それまで現在の白鬚橋付近にあった橋場の渡しを経由していた佐倉街道、奥州街道、水戸街道の街道筋が、この橋に移りました。千住大橋は何度も改架、改修が行われ、計6回に及びます。最初の架橋から1885(明治18)年の台風による洪水まで、流出が一度も無く江戸300年を生き抜いた名橋と言われています。

## 南千住の交通と産業 その1

### 『日光街道と千住大橋』

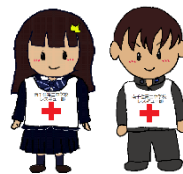
南千住は古くから交通・産業の要所でもあったところです。日光街道は江戸時代に作られた「五街道」の一つで、1636(寛永13)年、江戸・下野国日光間に開通しました。江戸から徳川家康を祀る日光山に至る主要道路として東海道に次いで整備されています。日本橋から宇都宮までの道程は奥州街道と共通でした。この区間にはもともと古道奥州道がありましたが、日光街道の開通とともに日光街道と称されるようになりました。日光街道の道中には21の宿場が置かれており、南千住の地は、日本橋を出発して最初の宿、千住宿が置かれていた場所です。千住宿は隅田川を挟んで現在の足立区側を千住上宿、そして南千住側を千住下宿と呼んでいました。千住宿は江戸の宿場のなかで最も長い宿場通りをもっていました。日光街道1番目の宿場ということもあり、多くの旅籠はもちろんのこと、蕎麦屋、菓子屋、居酒屋や髪結い、銭湯などが並び大変賑わっていたそうです。



黒墨の絵に描かれた千住大橋



学校だより  
令和三年4月  
第115号  
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

# 令和3年度もたくましくあれ!

校長 松田 公好

4月6日に始業式、7日に入学式を終え、いよいよ令和3年度がスタートしました。進級した新2年生141名、新3年生123名、に新入生138名が加わり、全校生徒数402名での新年度のスタートとなりました。

入学式では、式辞として新入生に本校の教育目標に関する話をしました。以下がその内容です。新たな年度を迎えるにあたり、上級生やその保護者の皆様にも確認していただければと思います。

### 【入学式式辞より抜粋】

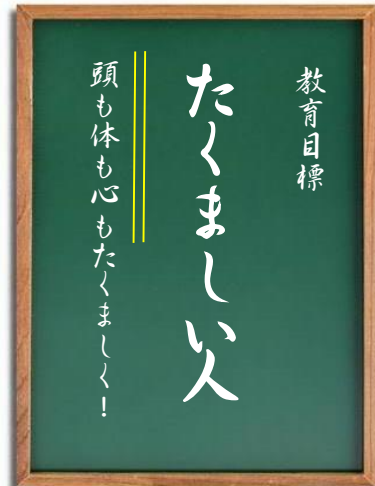
本校の教育目標は「**たくましい人**」、という一言です。南二中では3年間でたくましさを磨き、このたくましい人を目指します。実は「たくましい人」、の前には、3つの言葉が付いていると思ってください。それは「**頭**」と「**体**」と「**心**」です。つまり**頭がたくましい、体がたくましい、そして心がたくましい**、の3つの意味があるのです。頭のたくましさや体のたくましさは磨くにはどうしたらよいか、これは比較的考えやすいのではないのでしょうか？勉強して学力をつける、運動して体力をつける、栄養バランスを考えた食事で病気になるにくい体をつくるのもいいでしょう。では、心のたくましさはどうやって磨くのでしょうか？そもそも、「たくましい心」とはどんなものなのでしょう？

私はこう考えます。  
「**たくましい心**」には心の「**強さ**」と「**優しさ**」が必要ではないかと。心の強さとは、例えば「**我慢強さ**」「**根気強さ**」「**粘り強さ**」などです。「**くじけない心**」と言っても良いかもしれませんが、でも強いだけでは、まだ、「**たくましい**」とは言えない気がします。この強さに「**人を思いやる優しさ**」、が加わると「**たくましい心**」になるのではないかと思うのです。みなさんは昨年度、小学校生活最後の1年を、どのように送りましたか？小学校生活で、最後にもう一度あるはずだった行事が、次々に無くなってしまったり、縮小されたりして、たくさんの我慢と、たくさんの悔しい思いをしたのではないのでしょうか？残念ながら、まだコロナの影響は、続いてしまうかもしれません。こんな時だからこそ、「**たくましい心**」が必要なのです。

我慢や悔しい思いをする場面が多い中で、文句を言ったり、投げやりになったり、くじけたりすることなく、できることを見つけて工夫し、協力して学校生活を楽しむことができる。これも心の強さです。

そして万が一、仲間が感染しても、優しく思いやりある言動を取ることができる。この優しさが加わり立派な「**心のたくましさ**」になると思います。さあ、今日から早速、3つのたくましさを身につける努力を始めてください。さらにそのたくましさで磨きをかけて、本物の「**たくましい人**」を目指してほしいと思います。

今年度もみんなで切磋琢磨し、一人一人のたくましさで磨きをかけていきましょう。





# 第32回 卒業式



前年度3月19日(金)に、南千住二中第32回卒業式が挙行されました。感染症拡大予防のため、さまざまな行事が中止や短縮となりましたが、皆で卒業式を迎えることを目標に、クラスや学年で共に過ごす時間を大切にして、自分たちの手で最後の中学校生活をたいへん充実したものに作り上げてきました。卒業式の全体練習では、はじめから息の合った礼法を見せて、見守る教員たちを感心させるほどでした。生徒たちは健康管理にも努め、卒業という中学3年間の集大成ともなる晴れ舞台を全員で迎えることを誓い、心をひとつにして、全力で練習に取り組みました。

上: 卒業式の様子

右: ○○さんによる別れのことば



当日は来賓や在校生の出席はかなわず、卒業生と保護者、教職員のみが参列しました。厳粛な雰囲気の中、式ははじまり、3年間に培われた強い絆を感じさせる感動的な式を行うことができました。

卒業証書授与では担任の先生から一人ずつ名前を呼ばれ、壇上で返事をして卒業証書を受け取りました。卒業生一人ひとりの堂々とした晴れやかな表情は、誇らしくありました。校長先生の式辞では、「卒業生のみなさんの、輝ける未来に、幸多からんことを願っています」とはなむけの言葉が贈られました。在校生代表として出席した生徒会長 ○○○○さんの送る**ことば**は、出席できなかった在校生分の思いも込めて、常にお手本となり導いてくれた卒業生に感謝を伝えるものでした。

卒業生代表・前生徒会長 ○○○○さんの別れのことばは、感染症予防対策による休校や行事の中止・延期が決まり、不安と絶望に包まれたとき、先生からの**“与えられた環境でベストを尽くす”**という言葉に、希望を感じ、皆で考え、工夫を凝らして、無くなりかけた青春を自分たちの手で取り戻すことができ、当たり前はない、**“普通”**というのがどれだけありがたいかということに気づくまでの葛藤と皆で支え合って乗り越えた喜びが綴られていました。○○○さんのことばは途中から涙声に変わり、卒業生の席からもすすり泣く声や漏れ聞こえ、その様子を見守る保護者も涙をこらえきれませんでした。そして、「この場所での思い出を胸に刻み、3年間支えてくれた全ての人に感謝をして、私たちは卒業します。ありがとう、南千住第二中学校。」という感謝に包まれた旅立ちの言葉で結ばれました。

最後に、指揮・○○○○さん、伴奏・○○○さんによる校歌の演奏が行われました。歌唱はかきませんでした。二人の力強い指揮と伴奏が会場を包み、歌詞のひとつひとつが皆の心に深く染み入り、感動的なフィナーレとなりました。

令和二年度の卒業生は、男子47名、女子62名、計109名で、南千住二中の卒業生累計は3,041名となりました。卒業生の皆さんの一層の活躍をお祈りしています。



校歌演奏 指揮: 伊山さん、伴奏: 浅野さん

## 卒業期表彰生徒

### 東京都体育優良生徒

○○○○さん ○○○○さん

### 東京都産業教育奨励賞

○○○○さん ○○○○さん

### JRCメンバー卒業表彰 功労表彰

○○○○さん ○○○○さん

### JRCメンバー卒業表彰 善行表彰

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

### 荒川区教育奨励賞【努力の部】

○○○○さん ○○○○さん

### 荒川区教育奨励賞【皆勤の部】

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん

○○○○さん ○○○○さん



# 教職員の紹介

新年度に伴い、教職員の異動がありました。これまで学校を支えてくださった先生・主事さんありがとうございました。

【退職】	事務主事 用務主事 特別支援教育支援員 スクール・サポート・スタッフ	新妻 輝 亀谷 千鶴 山田 保華	行 鶴 介 千 俊 華	江戸川区立小松川第二中学校へ
【転出】	教 学 校 司 教 学 校 司	加藤 加 浅野 藤 苦米 野 米地 早	青 藤 青 早 弥 花 花 陸 美	(体育) (理科) 北区立明桜中学校へ 荒川区諏訪台中学校へ 荒川区第九峡田小学校へ
【転入】	教 事 務 主 任	石 水 川 澤	秀 康 さ や か	(体育) 大田区立蓮沼中学校より 荒川区第二瑞光小学校より
【新規採用】	教 学 校 司 特別支援教室専門員 特別支援教育支援員 スクール・サポート・スタッフ	佐藤 悠 大千 藤 千時 塚 高 葉 佐野 田 賢 野 藤	悠 理 万 彩 衣 凛 成 美 路 是 子	(理科) (数学) (音楽)

## 令和3年度 教 職 員

職名等	担任	氏名	教科等
校長		松 田 公 好	経営
副校長		伊 藤 鐘 之 助	経営
教諭	1組担任	小 林 朋 生	国語
教諭	2組担任	南 部 大 樹	英語
教諭	3組担任	石 川 秀 康	保健体育
主任教諭	4組担任	澤 田 真 樹 子	英語
主任教諭・1学年主任	副担任	中 藤 啓 司	理科
教諭	副担任	大 塚 彩	数学
教諭	副担任	井 上 美 香	音楽
主任養護教諭・保健給食主任	学年所属	高 取 由 紀	養護
教諭	1組担任	水 村 英 美 子	家庭
教諭	2組担任	鬼 澤 大 地	数学
教諭	3組担任	富 山 晃	数学
主幹教諭・2学年主任・生活指導主任	4組担任	飯 田 朋 子	国語
教諭	副担任	長 田 利 子	理科
教諭	副担任	村 上 蒼	美術
教諭	副担任	酒 井 和 彦	英語
主幹教諭・3学年主任	1組担任	野 口 敦 広	社会
教諭	2組担任	橋 本 和 加 子	保健体育
教諭・進路指導主任	3組担任	中 村 直 樹	技術
主任教諭・教務主任	4組担任	平 岡 祐 樹	数学
主任教諭・司書教諭	副担任	松 本 し お り	社会
教諭	副担任	佐 藤 悠 理	理科
教諭	副担任	千 葉 万 凛	音楽
事務主任	—	水 澤 さ や か	事務
用務主事・技能主任	—	井 上 和 歌 子	用務
図書館指導員・学校司書	—	時 田 薫	司書
非常勤栄養士	—	小 向 朋 美	栄養士
非常勤職員	—	山 田 正 美	事務
非常勤職員	—	遠 藤 直	用務
非常勤職員	—	川 端 久 美 子	用務
臨時職員	—	金 富 美 代 子	事務
臨時職員	—	笹 岡 博 明	事務
学校管理員	—	桂 田 武 夫	学校管理
学校管理員	—	赤 坂 昌 宏	学校管理
非常勤講師	—	西 堀 秀	国語
非常勤講師	—	飯 島 亮	社会
非常勤講師	—	櫻 井 直 子	英語
外国人指導員(NEA)	—	(5月配属予定)	英語
スクールカウンセラー	—	森 敦 三	カウンセリング
心理専門相談員	—	小 野 堀	心理相談
特別支援教室専門員	—	高 橋 衣 美	I-class
特別支援教育支援員	—	佐 野 成 長	特別支援
スクール・サポート・スタッフ	—	齋 藤 路 子	学校庶務
他 情報教育支援員(巡回)、部活動指導員、給食調理員(ヒトラー・ドナー)			